

電波伝搬実験 八溝山（1）

7L2WVR 久保木尊史

2023年 電波伝搬実験からの帰り道、充実感を味わいながらバイクを走らせた。赤城山は良かった。さすが標高が高いだけあって電波が飛んで行く。ひとつ残念だったのは、富士山の太郎坊と交信出来なかったことだ。まあ、富士山の裏側になるから仕方ない。他の局とはすべて繋がった。コンテストで使われる場所だけのことはあるな。じゃ、来年、来年はどうしようか。また赤城山に行くか？いや、2年連続で同じ所は自分の性格からして面白くないだろう。今度は全局と、それも最長距離を狙いたい。そうしたら、やっぱり、あそこしかないな。

約30年ほど前、僕がまだ駆け出しの頃（今でも駆け出しだが）、故JA1BSZ局、小沢OMには大変良くして頂いた。ご自宅に招待して頂いたり、240各局と一緒に移動運用や六道山へ初日の出を見に行ったり、いつも小沢さんは、「久保木さん久保木さん」と声をかけて下さった。ある時小沢さんが、「八溝山に行きます！」と言われたのを覚えている。それから「やみぞさん」という山名が僕の中でずっと残っていた。那須高原の那須岳ロープウェイ駐車場から東を眺め、「あの辺が八溝山かなあ？」と遠くを眺めたりした。それだけ八溝山は自分にとって「小沢さんが移動運用に行かれた遠い山」という印象が強かった。

最長距離を狙うとなると、各局がどこに移動するか、それが問題だ。GoogleMAPで確認すると、八溝山は、関東平野の北東の果て、7エリアとの境だ。すなわち、栃木と茨城と福島、三県の県境になる。ここなら各局の方向は西から南までの、約90度の範囲に収まることになる。最長距離となると、JR2CTR局がどこに移動されるか、だ。もし長野県木曾郡王滝村なら、直線距離にして270kmを越える。現地の標高は約2000mだ。こちらの標高は約960m、王滝村の半分以下の高さだが、目の前は遮るものが無い関東平野だ。また、各局が移動の候補に上げるだろう各地との相性もチェックする。

ここで便利だったのが、GoogleMAPの「距離を測定」という機能だ。これは2点間の直線距離を測定できる機能で、マップ上に直線のラインと距離目盛が表示される。これを表示させることで、2点間が、「ルートはどこを通るか」、「ルート上にどんな山があるか」、「それは通信の障害になる山か」、などの情報を読み取ることが出来る。

これで、ルート上に高い山がある場合、それが電波を遮蔽する山か、それとも頂上を越えられるか、など、「2点間の通信の相性」を予測することが出来るのだ。

この地図上で、唯一気になるのは、王滝村と八溝山は途中、赤城山の南斜面をかすめるルートである。自分が伝搬実験で使った場所だ。標高1600m、そこの斜面ギリギリをかすめて行く。八溝山は標高が低いが距離がある。たぶん、大丈夫だろうとの結論に至った。他の移動に適している地点との相性も、この機能で調べ上げる。まず問題なさそうだ。



ということで、移動地候補は八溝山にしようかと思う。

つぎに問題なのは、その遠さだ。

何しろこの行政区は、「茨城県久慈郡大子町」だ。

袋田の滝に近いんだって！

それはそれは、言ってみれば、あきる野市からは「地の果て」じゃん！

バイクや車で何時間かかるのよ？

茨城県は今まで、車で常磐道を使い日立市までは行ったことがある。

でも遠かったな。電車で特急スーパーひたちを使う方が快適だったよ。

文明の利器、ヤフーカーナビで検索してみる。

同時に GoogleMAP でもルート検索が出来るので検索する。

うーん、

時間帯にもよるけど、高速を使って約4時間、下道で約6～7時間か。

僕のバイクで、下道で6時間っていうと、中央道方面ではちょうど諏訪湖のあたりか。

やっぱ遠いな。次の日が仕事だとキツイか。

とりあえず、ゴールデンウィークあたりに下見に行ってみよう。

と、計画を立てたのは3月～4月初旬の頃。

友人に電波伝搬実験の候補地に八溝山を計画していることを話した。

GWあたりに下見に行くと話すと、友人から思いがけない言葉が。

「じゃ、当日は僕が車を出してあげるよ。下見は WVR がひとりで行ってきてね。」

思わぬ申し出にビックリしたが、とても嬉しい。

とりあえず、下見に行く計画を立てる。

現地までは、16号で春日部まで行く。そこから4号バイパスで宇都宮だ。

宇都宮から東に、那須烏山で北に折れ、那珂川町を通過して大子町だ。

GWは予報では雨模様だったので、GW明けの12日に行く計画を立てた。

だがGWになり天候が変わった。4月28日（日）、長期予報では雨だったが晴れ予報になった。

これは行くしかない。

朝4時、バイクで家を出た。

16号は順調。快適に飛ばせ、いや、安全運転で。

川越を過ぎ、荒川を渡る頃に日の出を迎えた。寒い、着込んできて良かった。それでも寒い。

春日部から4号バイパスに乗る。ここは日本のアウトバーンか？と思うほど、車が飛ばしている。

こちらも負けじと、いや、安全運転で。

あっという間に宇都宮。そこから東に行き、那須烏山のコンビニで朝食休憩。

北に進路を取り、那珂川町経由で大子町に入る。

どンドン山の中に道は続いているが、八溝山の姿が見えない。どれが八溝山なのか、まったく分からない、というか、山体が見えないのだ。八溝山の由来は、八方に伸びた溝（山の谷）から来たそう。

なので裾野に低い山が連なっているので、山体が見えない。ある程度遠くからなら見えるだろうけど、

今日のコースでは全く見えない。

そうこうしているうちに、いよいよこれから八溝山への登りだ。

今日は南尾根を登るコースで行こう。山体への取り付きに神社の鳥居がある。

鳥居をくぐるといよいよ本格的な登りだ。

道は細くカーブがキツイ。ここは赤城山の南斜面の道に似てるな。

ヘアピンの連続で、対向車が来たら危険だ。

なんとか登り終えると富士見ヶ丘駐車場だ。そこを過ぎて一段上の「富士見ヶ丘展望台」に着く。

ここまで4時間半。意外に早く着いた。

ちょうど ALL JA CONTEST の真っ最中なので、ここにも移動局が来ている。声をかけてひと時話しに華が咲く。というか声をかけて CONTEST の邪魔をしている？(笑)

方位を確認すると、ここは北東から南回りで南東までの180度が開けている。

電波伝搬実験に最適だな。

下の富士見ヶ丘駐車場は、一段低いのと、すこし窪んだ場所なので、ロケはあまり良くないな。

他には、山頂駐車場、ここは狭いし、木立の中。また、西に山頂があるので良くない。

歩いて山頂ならロケは良いだろうが、モバイル運用という観点と、担ぎ上げは天候にも左右される。なので山頂はペケ。

ポータブル7の場所も確認したが、今回の伝搬実験には不安がある場所だ。富士見ヶ丘展望台の「茨城県久慈郡大子町移動」が一番安定して良いだろう。との結論に達した。

10時前に出発し、折角来たのだから袋田の滝に寄って行こう！と、寄り道をする。

バイクで2~30分くらいの距離だ。到着すると、なんと無料駐車場から滝までは1キロ以上歩かなければならない。滝の近くの駐車場は全て有料。駐車場代高いし、無料駐車場からじゃ歩き疲れて帰れなくなっちゃうよ。

ここまで来たからオッケーということで、滝には行かずそのまま引き返す。

ということで、11時に袋田の滝を出て、帰りも4時間半、帰宅したのは午後3時半だった。

思ったより早く帰宅できた。一日晴天だったので、メッチャ日に焼けた。

だが、これで具体的に八溝山での計画を練ることが出来る。

電波伝搬実験当日まで一か月を切った。

各局の移動地が決定したら、それに合わせたシミュレーションと、現地での具体的な運用場所の選定、それと機材の準備が待っている。



富士見ヶ丘展望台で ALL JA 参戦中の局



車がいる場所から奥が7エリア。車の手前は1エリア。

To be continued

7L2WVR 久保木尊史